

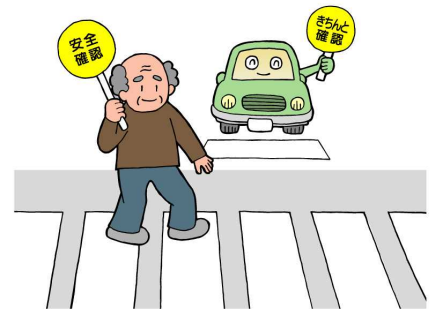
# 平成29年中 京都府内の交通事故発生状況



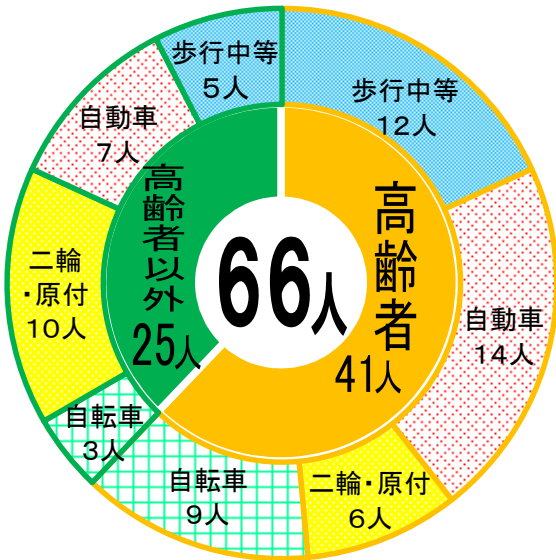
平成29年中の京都府内における交通事故の発生状況は、発生件数、負傷者数ともに13年連続で減少し、ピーク時の約4分の1となりました。しかし、死者数は増加に転じ、特に高齢死者は全体の約6割を占め、過去最高の割合となっています。

## ◆交通事故発生状況

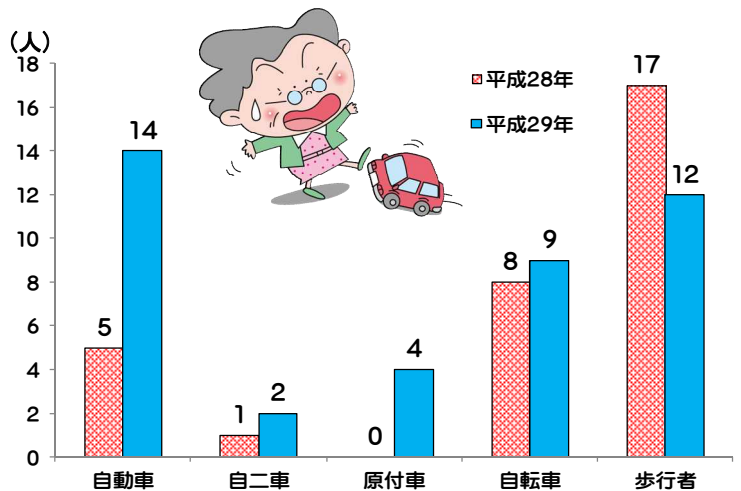
	平成28年	平成29年	前年対比
発生件数 (件)	8,087	7,145	-942
死者数 (人)	60	66	6
負傷者数 (人)	9,678	8,530	-1,148



## ◆交通事故死者数



## ◆状態別高齢死者数



### ～ 高齢者事故の特徴 ～

- 高齢死者数が前年対比+10人と大幅に増加しました。
- 歩行中の死者は減少（前年対比-5人）しましたが、自動車乗車中の死者は、約3倍に増加（前年対比+9人）しました。
- 死亡事故の約4割が京都市内で発生しています。

